（別添資料１）

事業所名	チャイルドサポートもりやま （重症心身障害児以外　児発）	**支援プログラム（参考様式）**	作成日	令和8 年 4 月 1 日

法人（事業所）理念	利用児、及びご家族の光・希望となれるよう、家族のような長期的・継続的な視点を持って生活のお手伝いをし、いずれは本人が自分で生活を営めるよう支援いたします。			
支援方針	保育園・幼稚園・こども園などの社会生活の中では、カリキュラムに沿った成績を収めることは基本的なことです。しかし、それは必ずしもすべての子の自立において最優先されるべきではない場合もあります。 社会適応の範囲で最大限『じぶんらしさ』が発揮できるようなスキルの獲得と環境調整を当事業所は療育方針といたします。			
営業時間	9 時 0 分から 17 時 0 分まで		送迎実施の有無	あり
	支　援　内　容			
本人支援	健康・生活	・来所時に体温を測定し、家での様子などからその日の体調を把握します。 ・来所時に行うことを、絵カードを用いてルーティン化できるように働きかけます。 ・自分でできることは自分で出来るように環境を設定し、自立につなげていきます。		
	運動・感覚	・活動では、体幹を鍛えるためのバランス運動や、様々な感覚を経験するために感覚統合を取り入れています。 ・活動の中で、姿勢の維持やリラックスできる体位を提供します。ふれあい遊びや楽器を使用し、音遊びを行います。 ・スパイダーを取り入れ、身体機能向上を促したり体幹を鍛えます。また、安定した姿勢の中で自分の身体を動かせるように関わっていきます。		
	認知・行動	・スライム、小麦粉、米など色々なものを触り、五感を刺激します。 ・散歩を行い、季節の変化への興味などの感性を養います。		
	言語 コミュニケーション	・コミュニケーションがとれない児童に対しては、非言語的コミュニケーションを大事にし、表情の変化から思いを読み取る工夫をします。		
	人間関係 社会性	・他児との交流の時間を大切にし、他者に対する興味関心が広がるよう働きかけます。		
家族支援	夏祭りとクリスマス会など、年2回保護者と交流する機会を作っています。 保護者の悩み事に関して事業所での様子などの情報交換と助言・相談を行います。 送迎や延長支援も必要に応じて対応いたします。		移行支援	相談員と連携を図り、就学に向けて準備をします。 定期的に会議の場を設け、保育園・幼稚園や保護者との情報共有を図ります。
地域支援・地域連携	近くの事業所と一緒に活動をしたり、地域のイベントに参加しています。		職員の質の向上	毎週木曜日に学習会を行い、児童の特性、疾患、支援方法などについて知識を深めています。
主な行事等	夏祭り、クリスマス会、お泊り会、お誕生日会などの季節行事や、プログラミング学習、積極的な外出活動（お出かけ）などを行います。			

（別添資料１）

事業所名	チャイルドサポートもりやま （重症心身障害児以外　放デイ）	支援プログラム（参考様式）	作成日	令和8 年 4 月 1 日

法人（事業所）理念	利用児、及びご家族の光・希望となれるよう、家族のような長期的・継続的な視点を持って生活のお手伝いをし、いずれは本人が自分で生活を営めるよう支援いたします。									
支援方針	学校や社会生活の中では、カリキュラムに沿った成績を収めることは基本的なことです。しかし、それは必ずしもすべての子の自立において最優先されるべきではない場合もあります。 社会適応の範囲で最大限『じぶんらしさ』が発揮できるようなスキルの獲得と環境調整を当事業所は療育方針といたします。									
営業時間		9	時	0	分から	17	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり
	支　援　内　容									
本人支援	健康・生活	・来所時に体温を測定し、家での様子などからその日の体調を把握します。 ・来所時に行うことを、絵カードを用いてルーティン化できるように働きかけます。 ・自分でできることは自分で出来るように環境を設定し、自立につなげていきます。								
	運動・感覚	・活動では、体幹を鍛えるためのバランス運動や、様々な感覚を経験するために感覚統合を取り入れています。 ・活動の中で、姿勢の維持やリラックスできる体位を提供します。ふれあい遊びや楽器を使用し、音遊びを行います。 ・スパイダーを取り入れ、身体機能向上を促したり体幹を鍛えます。また、安定した姿勢の中で自分の身体を動かせるように関わっていきます。									
	認知・行動	・スライム、小麦粉、米など色々なものを触り、五感を刺激します。 ・散歩を行い、季節の変化への興味などの感性を養います。								
	言語 コミュニケーション	・コミュニケーションがとれない児童に対しては、非言語的コミュニケーションを大事にし、表情の変化から思いを読み取る工夫をします。								
	人間関係 社会性	・他児との交流の時間を大切にし、他者に対する興味関心が広がるよう働きかけます。								
家族支援	夏祭りとクリスマス会など、年2回保護者と交流する機会を作っています。 保護者の悩み事に関して事業所での様子などの情報交換と助言・相談を行います。 送迎や延長支援も必要に応じて対応いたします。								移行支援	放課後児童クラブと並行利用している場合における並行利用先との連携 ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた準備、同年代のお友達をはじめとした地域における仲間づくり。
地域支援・地域連携	近くの事業所と一緒に活動をしたり、地域のイベントに参加しています。								職員の質の向上	毎週木曜日に学習会を行い、児童の特性、疾患、支援方法などについて知識を深めています。
主な行事等	夏祭り、クリスマス会、お泊り会、お誕生日会などの季節行事や、プログラミング学習、積極的な外出活動（お出かけ）などを行います。									

（別添資料１）

事業所名	チャイルドサポートもりやま （重症心身障害児　児発）	**支援プログラム（参考様式）**	作成日	令和8 年 4 月 1 日

法人（事業所）理念	利用児、及びご家族の光・希望となれるよう、家族のような長期的・継続的な視点を持って生活のお手伝いをします。			
支援方針	日常的に医療ケアを必要とするお子様一人一人が安心して過ごせ、保護者の皆様が自分の時間を確保してリフレッシュしたり、仕事に出られるようにお手伝いをします。 お子様一人一人の発達状態に応じて、心身の調和による発達を促せるよう支援を行い、個別プログラムを基に取り組みます。 ご家族の心に寄り添い、ご家族と共に地域の中で育てていくことを理想としています。			
営業時間	9 時 0 分から 17 時 0 分まで		送迎実施の有無	あり
	支　援　内　容			
本人支援 健康・生活	・来所時に体温を測定し、家での様子などからその日の体調を把握します。 ・おやつ、活動、リハビリの流れを固定し、生活リズムが安定するように支援します。			
本人支援 運動・感覚	・活動では、体幹を鍛えるためのバランス運動や、様々な感覚を経験するために感覚統合を取り入れています。 ・活動の中で、姿勢の維持やリラックスできる体位を提供します。ふれあい遊びや楽器を使用し、音遊びを行います。 ・スパイダーを取り入れ、身体機能向上を促したり体幹を鍛えます。また、安定した姿勢の中で自分の身体を動かせるように関わっていきます。			
本人支援 認知・行動	・スライム、小麦粉、米など色々なものを触り、五感を刺激します。 ・散歩を行い、季節の変化への興味などの感性を養います。			
本人支援 言語コミュニケーション	・コミュニケーションがとれない児童に対しては、非言語的コミュニケーションを大事にし、表情の変化から思いを読み取る工夫をします。			
本人支援 人間関係社会性	・他児との交流の時間を大切にし、他者に対する興味関心が広がるよう働きかけます。			
家族支援	夏祭りとクリスマス会など、年2回保護者と交流する機会を作っています。 保護者の悩み事に関して事業所での様子などの情報交換と助言・相談を行います。 送迎や延長支援も必要に応じて対応いたします。	移行支援	相談員と連携を図り、就学や進学に向けて準備をします。 就学、進学後も定期的に会議の場を設け、保護者との情報共有を図ります。	
地域支援・地域連携	近くの事業所と一緒に活動をしたり、地域のイベントに参加しています。	職員の質の向上	毎週木曜日に学習会を行い、児童の特性、疾患、支援方法などについて知識を深めています。	
主な行事等	夏祭り、クリスマス会、お泊り会、お誕生日会などの季節行事や、プログラミング学習、積極的な外出活動（お出かけ）などを行います。			

（別添資料１）

事業所名	チャイルドサポートもりやま （重症心身障害児　放デイ）	**支援プログラム（参考様式）**	作成日	令和8 年 4 月 1 日

法人（事業所）理念	利用児、及びご家族の光・希望となれるよう、家族のような長期的・継続的な視点を持って生活のお手伝いをします。			
支援方針	日常的に医療ケアを必要とするお子様一人一人が安心して過ごせ、保護者の皆様が自分の時間を確保してリフレッシュしたり、仕事に出られるようにお手伝いをします。 お子様一人一人の発達状態に応じて、心身の調和による発達を促せるよう支援を行い、個別プログラムを基に取り組みます。 ご家族の心に寄り添い、ご家族と共に地域の中で育てていくことを理想としています。			
営業時間	9 時 0 分から 17 時 0 分まで		送迎実施の有無	あり
	支　援　内　容			
本人支援 健康・生活	・来所時に体温を測定し、学校や家での様子などからその日の体調を把握します。 ・おやつ、活動、リハビリの流れを固定し、生活リズムが安定するように支援します。			
本人支援 運動・感覚	・活動では、体幹を鍛えるためのバランス運動や、様々な感覚を経験するために感覚統合を取り入れています。 ・活動の中で、姿勢の維持やリラックスできる体位を提供します。ふれあい遊びや楽器を使用し、音遊びを行います。 ・スパイダーを取り入れ、身体機能向上を促したり体幹を鍛えます。また、安定した姿勢の中で自分の身体を動かせるように関わっていきます。			
本人支援 認知・行動	・スライム、小麦粉、米など色々なものを触り、五感を刺激します。 ・散歩を行い、季節の変化への興味などの感性を養います。			
本人支援 言語コミュニケーション	・コミュニケーションがとれない児童に対しては、非言語的コミュニケーションを大事にし、表情の変化から思いを読み取る工夫をします。			
本人支援 人間関係社会性	・他児との交流の時間を大切にし、他者に対する興味関心が広がるよう働きかけます。			
家族支援	夏祭りとクリスマス会など、年2回保護者と交流する機会を作っています。 保護者の悩み事に関して事業所での様子などの情報交換と助言・相談を行います。送迎や延長支援も必要に応じて対応いたします。	移行支援	相談員と連携を図り、就学や進学に向けて準備をします。 就学、進学後も定期的に会議の場を設け、学校や保護者との情報共有を図ります。	
地域支援・地域連携	近くの事業所と一緒に活動をしたり、地域のイベントに参加しています。	職員の質の向上	毎週木曜日に学習会を行い、児童の特性、疾患、支援方法などについて知識を深めています。	
主な行事等	夏祭り、クリスマス会、お泊り会、お誕生日会などの季節行事や、プログラミング学習、積極的な外出活動（お出かけ）などを行います。			